

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2002-206848 (P2002-206848A)  
 【公開日】平成 14 年 7 月 26 日 (2002.7.26)  
 【出願番号】特願 2001-340514 (P2001-340514)  
 【国際特許分類第 7 版】

F 2 5 D 21/04

D 0 3 D 1/00

F 2 5 D 23/02

【F I】

F 2 5 D 21/04 V

D 0 3 D 1/00 Z

F 2 5 D 23/02 3 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 5 日 (2004.10.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

かかる結露防止性を付与するために、J I S L 1 0 9 6 に基づく布帛の通気度が 0 . 6 ~ 1 0 0 [ c c / c m <sup>2</sup> / s e c ] であることが必須である。通気度が 0 . 6 [ c c / c m <sup>2</sup> / s e c ] 未満であると、布帛の表面と裏面で、温度差が生じて結露を発生する。通気度が 1 0 0 [ c c / c m <sup>2</sup> / s e c ] を越えると、布帛全面から冷気が漏れるため、省電力性と断熱性が失われる。さらに断熱性を有し結露を防止するために、J I S L 1 0 9 6 に基づいて測定した通気度が 3 ~ 5 0 [ c c / c m <sup>2</sup> / s e c ] であることが好ましい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

また、本発明の布帛のカバーファクターとしては、5 0 0 ~ 2 5 0 0 であることが好ましい。このカバーファクターが 5 0 0 未満であると、通気性が高くなり、布帛全面から冷気が漏れるため省電力性と断熱性が失われる。また、カバーファクターが 2 5 0 0 を越えると、通気性が低くなり、布帛の表面と裏面で温度差が生じて結露が発生してしまう。さらに断熱性を有し結露を防止するために、カバーファクターが 5 0 0 ~ 1 6 0 0 の範囲であることが好ましい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

実施例 1、2 および比較例 1、2 で得られた結露防止シートを、室内 2 5 、

60%RH、庫内 - 25℃、10%RHの条件下で、前記した結露量の測定方法により測定した。また、その間の消費電力量 ( $\text{kW/h}$ ) を電力計で測定した。結果を表1に示す。